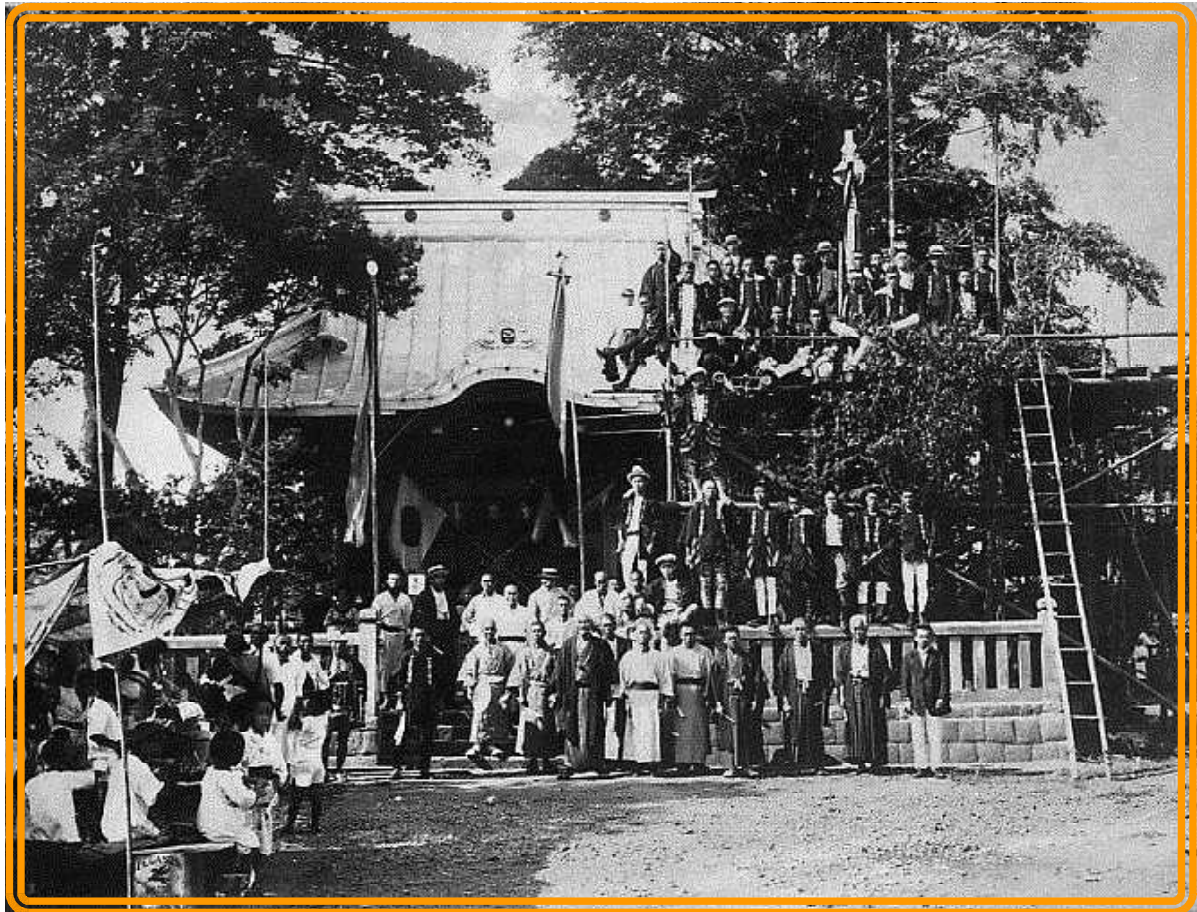


# 寒川文書館だより

Vol. 15



一之宮八幡大神の震災復興（『目でみる寒川』より）

## ■第15号目次

資料紹介（一之宮八幡大神の震災復興）	2
特集・関東大震災90年関連事業	3
出前講座／頼輔先生の手紙補遺	6
文書館 最近のできごと	7

第15号  
2014.3.31  
寒川文書館

## 〈資料紹介〉 一之宮八幡大神の震災復興

(『目で見える寒川』より)

大正12年(1923)9月1日の関東大震災で破損した一之宮八幡大神社殿の新築竣工に際し撮影された写真である。撮影の日付は目下不詳で、神奈川県への竣工届(一之宮八幡大神所蔵)では大正15年12月20日に竣工とされているが、寒川神社社務日誌(寒川神社所蔵)の大正15年7月31日の条に「一宮八幡宮御遷宮祭ニ付宮司参列ノ為出張」とあることや、写っている人々の服装などから、8月1日の例祭の宵宮である7月31日に行われた御遷宮祭に際し撮影されたものと考えておきたい。

現在、一之宮八幡大神の境内に残されている大震災記念碑には、「寒川村一之宮総戸数百七六戸内全壊百六十四半壊十二、此損害高約二十四万六千円、」とされる関東大震災での一之宮の被害と犠牲者の名が記されている。都市部のように大火災に見舞われたり、沿岸部のように津波の被害に曝される事こそなかった寒川村であったが、震源地に近い事もあって建物や道路、橋梁の被害は甚大であった。一之宮八幡大神そのものの被害に言及した資料は管見に入っていないが、記念碑の記述や、何より社殿が再建されていることから、全壊ないしはそれに近い被害が出たことが想像される。

時にこの社殿の再建について特筆すべき点として、愛川町半原の宮大工である矢内稲雄高秀の関与があげられる。矢内家は幕末からおよそ200年にわたり直系で5代続いた宮大工で、江戸城の普請や県内外の神社・仏閣等の建築に携わって来た家柄であり、稲雄はその5代目である。寒川町域での矢内家の活動としては倉見神社、小動神社、寒川神社、行安寺、念宗寺の造営や移築事業が知られており、神賑行事で有名な一之宮西町・東町の屋台もまた矢内家の関与をうかがわせる伝承があ

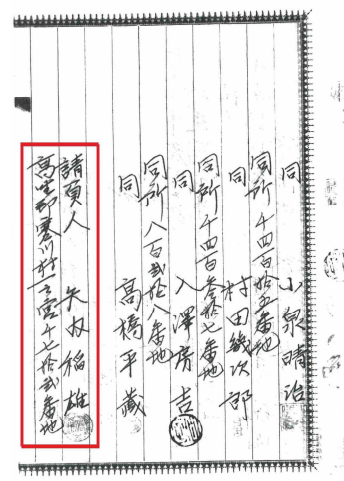
る。(以上、矢内家に関する記述は鈴木光雄著『幕府作事方柏木、矢内匠家 半原宮大工矢内匠家匠歴譜』による。)

工事の請負契約証(一之宮八幡大神所蔵)では請負人である矢内氏の住所が一之宮1072番地となっており、いわゆる寄留(本籍外の一定の場所に住所または居所を有すること)の形で工事を請け負ったと見られることも注目される点である。

(渡辺真治)



矢内稲雄高秀(1888~1954)  
(鈴木光雄氏蔵)



請負契約証(部分)  
(一之宮八幡大神蔵)



# 特集・関東大震災 90年

大正12年(1923)9月1日に起きた関東大震災は、寒川町域にも大きな被害をもたらしました。平成25年(2013)はちょうど90年の節目の年となりました。これを機に寒川文書館では、町民のみなさんの防災意識を高めていただこうと、展示をはじめさまざまな事業を展開しました。この特集ではこれらの事業記録についてご紹介いたします。

## 企画展「関東大震災と寒川」平成25年9月1日～26年2月28日

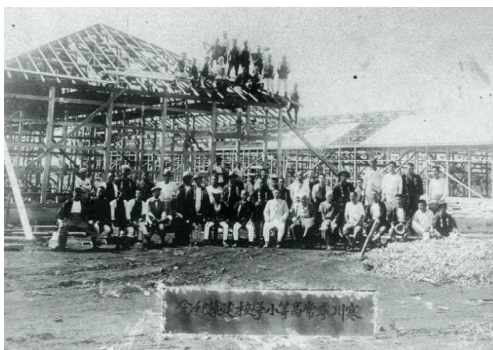


展示風景

関東大震災以前に寒川を襲った主な震災被害を概観する導入部と、「大震災の発生」・「村の被害と対応」・「復興の槌音」・「寒川神社の関東大震災」・「震災の記録と記念碑」という5つのコーナーで構成しました。

展示では、大火災や津波の被害こそなかったものの、震源地に近い事もあって建物や道路・橋梁の全壊率が高い寒川の被害の特徴や、村の復興事業の中心として最優先された小学校校舎の再建過程、村民どうしの助け合いの中で進められた家屋や寺社の復興のようすを、新出の寒川村役場文書などを活用してまとめました。また、国幣中社であったため国費で行われた寒川神社の社殿の復興や、のちの文人町長こと真田喜一が書いた震災で亡くなった妹の追悼文も紹介しました。

あわせて「町の防災対策」として、次に来る災害に備えて町民の安全を守るために寒川町が行っている対策を紹介するコーナーも設けました。



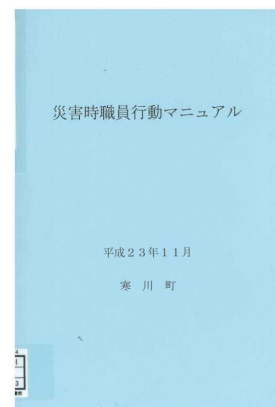
再建中の寒川尋常高等小学校



復旧した寒川神社の社殿



大震災記念碑  
(一之宮八幡大神)



災害時職員行動  
マニュアル

## 防災講演会 平成25年11月24日(日)



講演会の様子（寒川総合体育館）

名古屋大学教授武村雅之氏をお迎えし、「歴史に学ぶ防災論—関東大震災と寒川—」という講演会を開催しました。これは寒川町危機管理課の防災講演会と、文書館の町史講座の共催事業として実施したもので、会場の寒川総合体育館には約200人の皆さんが集まりました。武村氏は神奈川県内の震災記念碑を丹念に調査しています。その成果からこの講演では、記念碑を刻んだ人々の思いを受け止め、次に来るであろう災害に備えなければならないと強調しました。

## ミニ展示「災害から地域資料を守る」平成25年9月1日(日)～12月28日(土)



ミニ展示のパネル（文書館エレベータホール）

大磯町郷土資料館と神奈川県歴史資料保全ネットワークの共催事業として、同名の展示が3月9日から5月12日まで同館で開催されました。そこで作成された展示のパネルを巡回させる形で、このミニ展示が実現しました。東日本大震災において被災資料を救うための活動がどのように行われたのかをテーマに、全国各地で結成されている資料レスキュー組織の様子や、神奈川県立公文書館による陸前高田市公文書の修復作業をはじめ、神奈川県内の機関が行った資料救済活動の実績などについて紹介しました。

## 資料保存ワークショップ 平成25年9月8日(日)



襖の下貼りをはがす実習

神奈川県歴史資料保全ネットワークとの共催、神奈川県地域史研究会の後援、神奈川県立大学日本常民文化研究所の協力のもと、寒川町民センター展示室において開催しました。テーマは「水損資料等の応急措置を学ぶ」。水に濡れた資料の取り扱いや襖の下貼りのはがし方の手法を学んでいただくもので、35名の参加者がありました。資料を守ることに関心を抱く人が少なからずいることがわかったのは大きな成果でした。すでに「寒川文書館だより」第14号にレポートを載せていますので、詳しくはこちらをご覧ください。



## 上映会「関東大震災と防災対策」 平成25年11月3日(日)



上映会場の様子 (総合図書館会議室)

毎年11月3日の開館記念日に、総合図書館と共催で上映会を開催していますが、今年は企画展の関連事業と位置づけ、「関東大震災と防災対策」というテーマで実施いたしました。藤沢市、平塚市、茅ヶ崎市の広報番組のうち、関東大震災にまつわる映像作品を、各市の図書館から借りて上映し、また寒川町の広報番組から、町の防災対策に関するものも併せて見てもらいました。

## 図書館ミニ展示 平成25年9月1日(日)～9月29日(日)



図書館ミニ展示の様子 (総合図書館1階)

総合図書館1階の雑誌用書架の一部が図書展示のスペースになり、1か月ほどのサイクルで特定テーマの書籍を並べるようになりました。文書館ではここを借り、企画展の関連事業として関東大震災にまつわる図書館および文書館所蔵の書籍36冊を展示しました。脇には企画展のポスターを掲示し、4階の展示コーナーへの誘導をはかりました。

## 『寒川町史研究』第26号と『絵はがき集』4の発行



平成25年度に実施した一連の事業記録を『寒川町史研究』第26号にまとめました。巻頭には武村雅之氏の講演会記録を載せ、次いで震災当時の寒川村助役・佐藤峯太郎の残した文書から、関連資料を翻刻しました。さらに企画展、ミニ展示、上映会の結果も紹介しています。

また、寒川神社所蔵の「国幣中社寒川神社遷宮奉祝祭絵葉書」(昭和3・4年発行)の復刻版を作成しました。これは震災復興の一環として行われた寒川神社の社殿造営の完成を記念して制作されたもので、2度に分けて発行されたものの中から8枚を選んで一組にしました。どちらも文書館において500円で頒布しています。

# 出前講座「寒川の歴史・倉見の歴史」

出前講座は、町民グループの申請に応じて、グループが主催する学習会等に町職員を講師として派遣する制度です。寒川文書館では「寒川の歴史百科」「文書館ってなんだろう」をメニューとして登録しています。

今回、倉見自治会から倉見の歴史について話しに来てほしいとの申し込みがありました。同自治会が行っている「ふれあいサロン絆」の一環として地域について学びたいというご要望でした。

2月19日(水)倉見地域集会所において開催された講座は35名の皆さんが集まりました。まず、寒川文書館の概要や役割について説明したあと、旧石器時代から現代に至るまでの寒川の通史を概説しました。その中で、倉見才戸遺跡、高木清方、行安寺、倉見神社、倉見駅など、倉見の史跡やゆかりの人物を織り交ぜ、歴史を身近に感じていただけるよう心がけました。最後に、資料保存の大切さを訴え、資料提供のお願いをして散会となりました。

終了後、住んでいても気付かない地域の歴史がよくわかったという感想が寄せられました。今後もご要望に応じて実施してまいります。お気軽にお申し込みください。



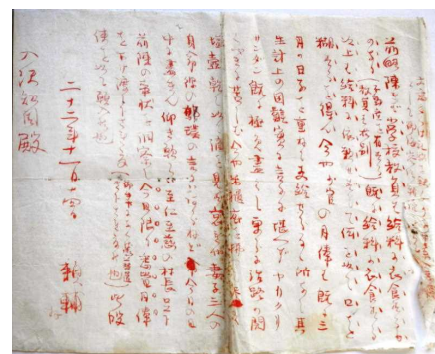
出前講座 会場の様子



講座で使ったプレゼンソフトの画像

## 頼輔先生の手紙 補遺

文書館だより第14号の巻頭で、給料3か月分の支払いを村長に求めた沼田頼輔の手紙を紹介しましたが、紙面の都合で手紙の本文を載せることができませんでした。今回あらためて翻刻文を掲載いたします。



沼田頼輔書状(当館蔵/佐藤稔氏旧蔵)

入沢知周殿  
 (明治)  
 二十二年十一月十四日  
 頼輔 拝

文意多くは礼敬を缺たる事、平素の悪療として御海容御判読を乞ふ、

前略、陳れば小学校教員は給料に衣食するものなり(不動産を有する)、既に給料に衣食する以上は、給料に依頼せずして何を以て口を糊するを得ん、今や小官の月俸は既に三月の日数を重ねて支給せらる、所なし、其生計上の困難実に言ふに堪へず、ヤリクリサンダン既に極め尽くし、更らに活路の開くべきに苦しむ、今や米櫃底を払つて尽す、塩壺乾て以て滴を見ず、哀れや妻子三人の身命、彼の郭璞の言にハあらねど、今日の日中に尽きん、仰き願くハ至仁至慈の村長足下、前陳の事状を洞察し、今日限り悉皆月俸を下け渡し下され度(御手下になくば御立替置)使を以て願入候也、

此段



# 文書館 最近のできごと

## ■中世史講座「都市鎌倉の梶原氏 2」 11月23日(土)～2月22日(土) 全4回



平成25年11月から26年2月にかけて、全4回で中世史講座を開催しました。昨年度に続けて、鎌倉権五郎神社、若宮大路、梶原郷といった、梶原氏ゆかりの鎌倉の史跡を紹介すると共に関連する『吾妻鏡』を中心とした史料を講読しました。事前に史跡を探訪して撮影した写真を画面に映して解説すると、受講したみなさんは興味深そうに見入っており、「鎌倉歩きの参考になる！」といった感想も寄せられました。

## ■神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会講演会 1月16日(木)



神奈川県立公文書館で開かれた神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会の講演会「史料保存とレスキュー活動」に講師として参加しました。3本の報告のうち「自治体における史料保全」と題し、寒川町が資料の防災について取り組んできたこと、これから取り組むべきことについてお話ししました。特に地域防災計画に資料保全と災害記録収集を位置づけることと、ネットワーク組織との協力体制が必要であることを強調しました。

## ■寒川中学校職業体験 1月29日(水)



寒川中学校の生徒3名が寒川総合図書館で職業体験学習を行いました。その一環として文書館を見学してもらいました。文書館の役割や図書館との違いなどを解説したあと、収蔵庫で寒川中学校校舎建築に関する公文書や、校歌制定時に使われた楽譜などを見せながら、資料を守ることの意義を説明しました。後日送ってもらった感想文にもナマの資料を見ることのできた喜びを綴ってくれていました。

## ■図書館ミニ展示「旗本 その多彩な顔ぶれ」 3月9日(日)～



総合図書館1階の書架でミニ展示を開催しました。この日から開催された企画展「近世寒川の領主群像」のPRも兼ね、図書館が所蔵する旗本に関する本を並べたものです。展示したのは人物伝や研究書ばかりでなく、旗本の登場する時代小説も含め、およそ70冊に及びました。その場で借りていただけるようにしたところ、半分近くが貸し出される日もあり、利用者の皆さんの江戸時代への関心の高さが窺えました。

## 今後の事業予定

### ■開催中の展示

平成26年3月9日(日)から8月31日(日)まで、文書館展示コーナーにおいて、企画展「近世寒川の領主群像—うちの殿様はどんな人?—」を開催中です。江戸時代に寒川町域を治めた旗本たちについて、村との関係を示す古文書、系図、役職の記録などから、多彩な彼らの素顔を紹介しています。ぜひ足をお運びください。



### ■平成26年度の事業

平成26年度は次の事業を実施する予定です。日時、会場、申込み方法など、詳しいことは「広報さむかわ」、文書館のホームページ、チラシなどをご覧ください。

- 古文書講座(全6回。5～10月の第4土曜)
- 中世史講座(全4回。11～2月の原則第4土曜)
- 町史講座(題未定。近世の領主をテーマに)
- 企画展「東海道新幹線と寒川」(予定)
- ミニ展示(随時)
- 懐かし映像上映会

## 編集後記

寒川文書館だより第15号をお届けします。

平成25年度は関東大震災が起きて90年の節目ということで、企画展、講演会、上映会、町史研究の発行など、さまざまな関連事業を展開することができました。概要は本紙にまとめましたので、ぜひご覧ください。これにより少しでも町民の皆さんの防災意識の向上につながればと願っています。去年は神奈川県内各地で展示や講演などが催されました。それぞれの企画が成功を収めたとは思いますが、担当者どうしの横の連携をもっと密にしていれば相乗効果も生まれ、県内全域に「過去に学ぶ防災」の輪が広がったのではと反省しています。

## 利用案内

### ■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時  
土・日・祝日 午前9時～午後5時

### ■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)  
年末年始(12月29日～1月3日)  
特別整理日(決まり次第お知らせします)

### ■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分  
寒川町コミュニティバス 図書館文書館前下車 徒歩1分  
※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



### 寒川文書館だより 第15号

平成26年3月31日

編集・発行/寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール [bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp](mailto:bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp)